

第1回

20にじゅうまる
プロジェクト
パートナーズ会合

にじゅうまる
COP1

<http://bd20.jp/cop1/>

記念フォーラム

「愛知ターゲット」達成にむけ、世界のオピニオンリーダーが描く
「2020年のビジョン」が聞けるのはココだけ！
自然資本、2020年型企业。日本では聞けない世界の最新話題を紹介します。

2014年2月15日(土)

会場：大阪府立大学 I-site なんば カンファレンスルーム

開催時間：13:00～16:30 開場：12:45

参加費：500円 同時通訳あり

基調講演

ジョナサン・ヒュー

IUCN地域理事-プログラム政策委員会委員長
スコットランド・ワイルドライフ・トラスト自然保護ディレクター



スコットランド・ワイルドライフ・トラストの自然保護プロジェクト、教育プログラム、自然保護区管理やキャンペーン事業などを展開する自然保護部を統括するほかIUCNの地域理事としても重責を担う。2013年11月にエディンバラで開催された「自然資本世界フォーラム」のプログラムディレクターとして活躍。

TEEB の次のステップについて

パバン・スクデフ

エール大学客員教授
コンサベーション・インターナショナル理事



G8からの依頼を受けてまとめた「生態系と生物多様性の経済学 (TEEB)」は、生物多様性条約COP10に際して生態系サービス(自然の恵み)の価値を明らかにした。「corporate 2020」(2020年型企业)などの著作や世界経済人会議での発表など、自然の価値を組み込んだ経済を実現するオピニオンリーダーの筆頭。

基調講演に続き、お二人に加え、国内の専門家・関係者も交えた **パネルディスカッション** を行います。
また、記念フォーラム終了後は、**ポスターセッション**、**交流会** が行われます(交流会参加費は2000円)。

主催：国際自然保護連合日本委員会

共催：生物多様性協働フォーラム事務局(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、兵庫県立人と自然の博物館、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク)、日本自然保護協会、WWFジャパン、CIジャパン、経団連自然保護協議会、特定非営利活動法人野生生物保全論研究会、国立環境研究所、ラムサール・ネットワーク日本、一般社団法人CEPAジャパン、生物多様性かんさい、国連生物多様性の10年市民ネットワーク、四国生物多様性ネットワーク

協力：特定非営利活動法人大阪自然史センター

後援(予定)：外務省、環境省、国連生物多様性の10年日本委員会、大阪府、大阪生物多様性保全ネットワーク、大阪府立大学